

年度:2019年 LOM番号:0368

【褒賞申請書】

| | |
|-------|----------------------|
| 事業名称 | 2019年度スクールギャラリーツアー |
| カテゴリー | 最優秀LOM長期型地域社会開発プログラム |

| | |
|---------|--|
| 申請LOM | 東北地区岩手ブロック 一般社団法人久慈青年会議所 |
| LOMの人数 | 35名 |
| 理事長名 | 大畑 義幸 |
| 担当者名 | 佐々木 寿文 |
| 担当者携帯番号 | 090-9530-7228 (担当者E-Mail: tottyانبouya19831228@yahoo.co.jp) |
| 事務局住所 | 岩手県久慈市中町2-5-6 |
| 事務局TEL | 0194-53-4671 (FAX:0194-52-0689) |

| | | |
|----------------------|---|----------------|
| 本事業の参加者 | 会員数 | 15名 |
| | 関係者数 | 児童54名、学校関係者20名 |
| | 一般参加者数 | 100名(主に児童保護者) |
| 事業実施に至る背景 400文字程度 | 2009年度より久慈市内の小学校を巡回し実施してきたスクールギャラリーツアーは本年、11年目を迎えます。芸術作品に触れる機会が乏しい児童に対し、芸術をより身近に感じてほしいという希望をもって事業を展開してまいりました。2010年には市内では初めてとなる本格的な芸術施設「あーとびる麦生」が開館しましたが、芸術に触れる機会は未だに乏しく、現在もなおその状況は変わりません。このような環境の中、未来を担う青少年に芸術に触れる機会を創出し、自由な発想力を向上させ、一人ひとりが明るく豊かな地域の創造へと繋げることが必要です。 | |
| 事業目的 400文字程度 | 【対外】 児童や地域住民の方々が身近に芸術作品に触れる場を創出し、青少年の豊かな想像力を養っていただきます。 【対外】 青少年の豊かな想像力を養う環境を整えます。 | |
| SDG'sの該当項目 | 4、17 | |

| | |
|-----------------------------------|--|
| <p>事業概要</p> <p>400文字程度</p> | <p>地域小学校を美術館に見立て、岩手県内芸術作家から無償で提供を受けた絵画、染織、立体作品などを校内に展示。2009年度より久慈市内各小学校を巡回しており、地域児童審美眼育成に努めています。また児童に限らず、保護者や地域住民の方々に対しても、学校開放日等に芸術に触れていただく機会をこの事業を通じて提供しています。</p> <p>本年度の取り組みは、現在美術作品を管理しているあーとびる麦生から、本年度作品展示校である久慈市立山形小学校へ運搬し久慈 JC メンバーで校舎内に展示します。作品数は数十点の予定です。</p> <p>4月16日児童朝会時に「2019スクールギャラリーツアー開校式」を執り行い、本事業の開始とします。展示期間中、児童に作品を鑑賞していただき、閉校式の際に簡単な感想等をアンケート用紙に記入して全児童に提出してもらいます。このアンケートは作品を提供していただいた作家の方々に送ります。</p> <p>9月中旬に2019スクールギャラリーツアー閉校式・作品撤収作業を行います。また、毎年恒例となっているスクールギャラリーツアー記念ワークショップを同日に開催し、児童たちの手で自分たちだけの唯一無二の作品を作ってください。</p> |
| <p>開催期間・タイムスケジュール</p> | <p>2019年4月～9月末</p> <p>●展示作業日時： 2019年4月13日(土)9:10～12:00</p> <p>8:00～ グループメンバー集合(場所:あーとびる麦生) 作業確認、作品積み込み</p> <p>8:20～ 山形小学校へ移動</p> <p>9:10～ メンバー現地集合(現地:山形小学校)</p> <p>9:20～ 作業内容の確認</p> <p>9:30～ 展示作業開始</p> <p>12:00～ 作業終了、解散</p> <p>●開校式： 2019年4月16日(火)児童朝会時 9:00～1000予定</p> <p>●閉校式・作品撤収作業： 2019年9月予定</p> |
| <p>開催場所</p> | <p>久慈市立山形小学校 住所:久慈市山形町川井 10-13-1 TEL:0194-72-2001</p> |
| <p>事業区分</p> | <p>継続</p> |
| <p>公益・共益区分</p> | <p>公益事業</p> |
| <p>事業総予算・収支</p> | <p>予算計:37,200円 支出計:37,200円</p> |

| | | |
|---------------------------------|--|---|
| 協力団体 | 共催 | なし |
| | 協賛 | なし |
| | 後援 | なし |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ●協力 :久慈市立山形小学校 ●監修 :熊谷行子氏(あーとびる麦生理事長、久慈JCグランドシニアクラブ会員) |
| 事業対象者 | 対外対象者:展示校の児童、児童の保護者、地域住民、小学校教職員 対内対象者:久慈青年会議所会員 | |
| 行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度 | (事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について記入) <ul style="list-style-type: none"> ・2018年10月 山形小学校に書簡にて本事業の趣旨と事業計画を説明。 ・2019年2月 山形小学校を訪問し、2019年度4月からの事業実施を承諾。 ・2019年3月 山形小学校を訪問し、作品展示と開校式の具体的な日程について協議。 久慈 JC 第3回理事会にて本事業の議案を協議し、審議可決。 ・2019年4月13日 久慈 JC メンバーによって山形小学校に作品搬入、学校内に展示。 ・2019年4月16日 2019スクールギャラリーツアー開校式を山形小学校にて挙行。 ※展示期間中、作品の展示状況(脱落や損傷等)を定期的に点検。 ・2019年8月 山形小学校を訪問し、スクールギャラリーツアー記念ワークショップの事業内容の説明及び協議。久慈 JC 第8回理事会にて、スクールギャラリーツアー記念ワークショップの議案を協議(1回目)。 ・2019年9月 久慈 JC 第9回理事会にて、スクールギャラリーツアー記念ワークショップを再協議。審議予定。 ・2019年9月未定 山形小学校にてワークショップ実施。児童及び学校関係者、一般参加者に対して当ツアーの事業検証アンケート実施。その後閉校式を挙行。作品の撤収作業を久慈 JC メンバーにより同日実施。 ・2019年10月 作品を提供した作家に集計したアンケートと御礼状を送付。 ・2019年11月 久慈 JC 第11回理事会にて、事業報告予定。 | |

| | |
|--|---|
| <p>結果 (RESULT)</p> | <p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <p>※今年度事業実施中のため、2018年度実施時(久慈市立来内小学校)の結果を記載。</p> <p>○事業目的の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業対象者にアンケートをとって事業目的の達成度を検証。 ・ 児童へのアンケートにおいて、「絵を見せられて、飾ってくれてありがとう」の声を頂いたこと、また、児童全員が「好きな作品が見つかった」「ほかの作品も見てみたい」との回答が多かった。 ・ 教職員へのアンケートにおいても、「子供たちが感動していた、絵画に直接手で触ることができ喜んでいて、自分も描いてみたいという児童もいた」との回答が多かった。 ・ 以上のアンケート結果を踏まえ、事業目的である児童が芸術作品に触れる場を創出し豊かな想像力を養う事に寄与できた。 |
| <p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p> | <p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>芸術作品に触れる機会が乏しい久慈地域において、本事業を2009年から11年間継続してきました。開催した学校は15校、本事業に関わった児童数は合計2,125名にのぼります。初期に体験した児童はすでに成人となっており、聞き込み調査したところ「芸術を身近に感じることができ、その後の成長の糧となる大変貴重な体験となった」との声が多く聞かれたことから、青少年期の心の成長という点で寄与する部分が多かったと推察されます。</p> |
| <p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p> | <p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>10年以上継続してきた青少年育成事業であり、この地域においては久慈 JC の代名詞ともいえる事業になっており、市の教育委員会や小学校教員の方々にも多大な支持をいただいております。ゆえに、LOM メンバーとしても誇りをもって取り組むことができ、児童とのふれあいから地域の健全な青少年育成事業について能動的に取り組むためのきっかけを得るメンバーが多いです。</p> |
| <p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p> | <p>(この事業の期待される長期的な影響を記入)</p> <p>青少年がもつ自由な発想力を豊かにすることができ、また、このような取り組みに事業を体験した多くの方々から支持を得ることで更なる事業の発展、新たな試み、ひいては事業を実施した久慈 JC の運動に対しての理解を得られることとなると推察されます。</p> |
| <p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p> | <p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品は当初から使用しているものや数年使用しているものもあり、いたんできています。なるべく良い状態で展示し、児童に鑑賞してもらいたいため、作家の方に相談して作品の入れ替え等も今後検討する。 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示期間は約半年で、作品数は学校の規模にもよりますが20～50作品となっています。児童たちに「飽き」ができないよう、現在閉校式の際の1回だけとなっているワークショップを展示期間中にもう1回実施する機会を学校側に設けてもらいたいところですが、今年度の教育カリキュラムに影響を及ぼしてはいけないため、別の試みを考える必要があります。 |
| 改善点 | <p>(改善点があれば記入)</p> <p>学校の授業の一環として実施するため、平日の日中に開催することがほとんどであり、メンバーの参加率が50%に満たないため、今後学校側と協議し展示・撤収作業だけでも休日開催できないか検討していきたいです。</p> |
| JCI活動計画の推進 JCI VISION活動計画の推進 JCI MISSION活動計画の推進 | <p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>まちづくりのための「ひとづくり」、人材育成の一環として地元の未来を担う青少年に芸術に触れる機会を創出し、自由な発想力を向上させることで明るく豊かな地域の創造へと繋げるということを、開校式・閉校式での挨拶で説明しました。</p> |
| 添付資料 PDF資料2MB、5ページ以内 | <p>(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p> <p>添付資料①: スクールギャラリーツアー作品展示</p> <p>添付資料②: スクールギャラリーツアー記念ワークショップ</p> <p>添付資料③: 児童アンケート集計結果(2018年度)</p> <p>添付資料④: 教員・保護者アンケート集計結果(2018年度)</p> |

<キャッチコピー等> 小学校を美術館に

<事業名> スクールギャラリーツアー

一般社団法人久慈青年会議所は2019年4月16日火曜日に2009年最初の開催依頼11年目、15校目となる「2019スクールギャラリーツアー」の開校式を岩手県久慈市山形町の、久慈市立山形小学校にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この「スクールギャラリーツアー」は、美術に触れる機会が少ない久慈地域の子供たちに対し、地域小学校を美術館に見立て、県内芸術作家から無償で提供を受けた絵画、染織、立体作品など幅広い作品の展示を校内で行うことで美術に触れる機会を提供し、児童の審美眼を育成することを目的として開催されました。これまで各校において事業後アンケートを児童・先生・地域住民（主に保護者）向けに実施してきました、いずれからも「審美眼が育成された」「作品をまた別な視点で見れるようになった」等の感想が寄せられまして、結果、これまで開催してきた学校では目的を達成する事ができております。

<スクールギャラリーツアー>とは？

詳細な事業内容

期日：2009年4月1日～

会場：久慈市内小学校（2019年度現在15校目）

（事業内容）

久慈市で2010年に廃校を利用した芸術施設「あーとびる麦生」が開館しましたが、開館期間限定、立地等の問題もあり、久慈地域の子どもたちが美術に触れる機会が少ないことから、当会で美術に触れる機会を提供するため2009年より地域小学校を美術館に見立て、県内芸術作家から無償で提供を受けた絵画、染織、立体作品など幅広い作品の展示を校内で行っています。久慈市内各小学校を巡回しており、地域児童審美眼育成に努めています。

また、ツアー期間内に「スクールギャラリーツアー記念ワークショップ」と題し、開催校の児童たちと保護者、近隣住民の方々を交えて芸術作品を作るワークショップも開催しています（写真3）。

写真1：開校式



写真2：展示作業

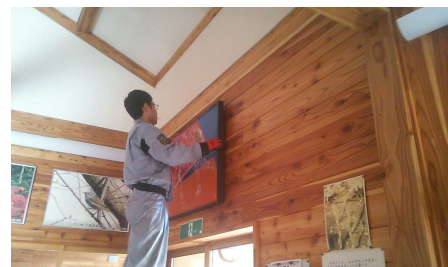


写真3：記念ワークショップ

